



地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人 長野県立病院機構

しらくま 



長野県立こども病院

わたし達は、未来を担う子ども達のために、質が高く、安全な医療を行います。

No.27
2013.7.23発行

ニュースレター



長野県立こども病院だより第27号 発行日：2013年7月23日 発行者：原田 順和
〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 TEL0263-73-6700 FAX0263-73-5432
<http://www.pref-nagano-hosp.jp/kodomo/> kodomo@pref-nagano-hosp.jp

Contents

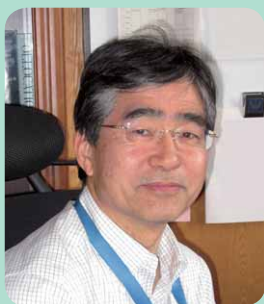
創立20周年を迎えたこども病院 … 1
記念式典 …………… 2
開院20周年記念 慰霊式 …………… 2
開院記念日のクッキー…………… 3
第4病棟紹介…………… 4
小児用の「半固形食短時間摂取法」 パンフレットとDVDができました! … 4
編集後記 …………… 5
外来医師担当表 …………… 6



長野県立こども病院理念

わたし達は、未来を担う子ども達のために、
質が高く、安全な医療を行います。

創立20周年を迎えたこども病院 長野県立こども病院 病院長 原田順和



平成5年5月28日に開設された長野県立こども病院は創立20周年を迎えました、本年5月25日には、これを記念して慰霊式、記念式典、祝賀会を行い、多くの方々の参加をいただきました。

さて、創立20周年といえば、社会では成人式に相当します。これからは、一人前になった社会人として世の中に貢献していくことを求められます。

この20年間、初代病院長 川勝岳夫先生をはじめ多くの方々が、長野県立こども病院の礎を築き、こども病院ならではのチーム医療を確立し、小児周産期医療における確固たる地位を確立してくださいました。長野県立こども病院職員は、そのあとを引き継ぎ、社会人として独り立ちした病院を運営していく覚悟が必要であると考えています。

こども病院発足当時は、長野県内で年間22000人ほどあった出生数が、社会の少子化の影響を受け、昨年は17000人を下回りました。また、以前から言われているように国や県の財政事情の悪化は明らかで、病院自体の運営も難しい状況にあります。

そのような中、平成22年4月からは、県の組織から分離され、地方独立行政法人長野県立病院機構の一員として再出発しました。この制度の改革は、病院の独自性を出し

やすくすることができるようになる半面、その経営責任が病院管理者に重くのしかかる制度です。そこで、病院のよって立つ基盤が大変革を遂げたのを奇禍として、この3年間で長野県立こども病院は大きく姿を変えました。持続可能な病院経営を念頭に、専門診療科のセンター化を進めております。すべての医療を必要とする子ども達の最後の砦となるべく、小児救急患者の受け入れをスムーズに行える体制を作りました。また、急性期医療に特化した診療だけでなく、急性期を乗り越えたものの、継続して医療を受ける必要のある子ども達が、地域に戻れるよう、小児在宅診療の推進や、地域基幹病院との連携にも力を注いでいます。

一方、学術研究面での取り組みも始めました。昨年度から、生命科学センターを設立し、主に遺伝子分野での研究に取り組んでいます。また、小児医療にかかわる人材育成も盛んに行っています。長野県立こども病院で小児医療について学んだ人たちが、長野県内のみならず全国に散らばり、そこで新たに小児医療を展開することができれば、成人に達した長野県立こども病院の役割が果たせることになるのではないかと考えています。

長野県立こども病院は次の10年に向かって歩み始めました。行く手には、多くの困難が待ち受けていることと予想されますが、今後とも、皆様方の一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

記念式典

20周年記念式典実行委員チーフ 瀧間浄宏



20周年の記念式典の実行委員のチーフとして、式典の様子をみなさんにご報告申し上げます。記念式典は、病院のエントランスホールで多くの来賓の方々を迎えて執り行われました。まず、原田順和病院長、久保恵嗣理事長の挨拶、そして、加藤さゆり長野県副知事の御祝辞、初代病院長でいらっしゃる川勝岳夫先生のお言葉をいただきました。加藤副知事には、こども病院の20年に対する暖かい賛辞と今後へのさらなる激励の言を賜り、職員一同身の引き締まる思いで拝聴しました。川勝先生は、こども病院で闘病の末逝った宮越由貴奈さんの“電池が切れるまで”をすべて暗唱されました。とつとつとした先生のお声がホールに響き、私たちの心をうちました。

そして式典の前半メインは、患者さん方のスピーチでした。実は、20周年記念式典の企画、実行をするようにと仰せつかったのは去年の11月で、当初は著名な方を呼んでの講演を中心にしてはどうかという案もありました。しかし、10周年記念のときと同じように、患者さんの声を聞きたい、とくに今回は、闘病生活を乗り越え、または今乗り越えている学生や社会人の方々に話してもらいたいと

の意見が委員の多くを占め、自然とこの企画に決まりました。トップバッターは栗本玲ちゃん、なんと“翼をください”の弾き語りで、たくさんのひとの前でも全く物怖じせず可愛く歌ってくれました。つぎに宮下丈治君、重症心疾患でお闘病中の彼です。スライドをつかって立派に自分のこれまでを語ってくれました。皆に勇気をあたえる姿でした。小出ちひろさんは、元院長の“石曾根新八先生に助けられ、今こうしていただける”とけなげに語り、感謝の気持ちが皆の心に染み渡るようでした。高野浩さんも、現在もお心疾患と闘いながら、毎日会社に通い、いろいろな場面で葛藤し、自立して一生懸命に生きる姿を皆に示してくれました。盛田大介さんは、今やこども病院の一医師として立派にやってくれておりますが、友とともに病気と戦い、そして打ち勝った昔を私たちに話してくれました。5人の患者さんそれぞれに心に残るスピーチで、20周年の記念にふさわしいイベントでした。

後半は、米良美一さんのコンサートです。まず皆を驚かせたのは、金太郎の姿での登場でした。どっと会場を和ませると、金太郎には似つかわしくない美しい歌声で聴衆を魅了し、さらにご自身の闘病についても語られ、会場と一体感のあるコンサートとなりました。もののけ姫では心躍り、ヨイトマケの唄の熱唱では会場は最高潮、最後のアンパンマンの朗読にあんなに感動するとは思いませんでした。

こうして20周年記念式典は、すばらしい行事となりました。みなさんのご尽力の賜物と感謝いたします。ありがとうございました。

こども病院の今までの20年があるのは、たくさんのことを教えて頂いた多くの患者さんのおかげだと思います。思いをあらたに、職員一同、病苦に向かうこどもたちやご両親の助けとなれるよう力を合わせて行きたいと思いません。

開院20周年記念 慰霊式

慰霊式担当責任者 副看護部長 石井絹子

開院20周年記念事業に慰霊式を行うことになり、10周年記念に準じて1月より準備を始めました。準備と当日の様子を記します。

ご遺族への案内状は開院時から平成24年12月31日までに亡くなった方425名に郵送させていただきました。リストアップに思いのほか時間がかかりました。電子カルテ移行に伴う漏れや他院で亡くなられた情報入力の漏れがあり、100%ではなかったと思われます。また、当たり前ですが20年間に引越しをされている方は多く、宛先不

明で返信される数が多かったです。

案内状には、しろくまの形にしたメッセージカードを同封させていただき、天国に行ったこども達へのメッセージを書いてくださるようお願いし、返信していただきました。たくさんのメッセージカードが返信され、「会いたいです」「生れてくれてありがとう」「大好き、愛しています」「ずっと一緒」「見守っていて」など一枚一枚にたくさんの想いが詰まっていて、読ませていただくと涙がこぼれます。

会場は中庭での開催でしたが雨の心配は無用でした。当日の天気は晴天、天国のこども達が見守ってくれました。

開式の後1分間の黙祷を捧げ、病院長式辞、献花、ご遺族代表のお言葉、閉式と式は厳かに進みました。

慰霊式は献花式といってもよく、その献花台に飾るパネルをどうするか課題でした。担当メンバーのアイデアにより当院メインキャラクターのしろくまとメッセージカードを配した大パネルを作成し献花台の正面に設置しました。亡くなった患者さん全員のお名前を読み上げさせていただき、出席者全員が献花をしました。BGMで使用した辻井伸行さんのオリジナルピアノ曲や「花は咲く」「それでも生きていく」の曲は心に沁みて涙があふれ、心が洗われるように優しい気持ちになりました。

準備委員会の中で慰霊式は患者さんの親御さんだけでなく、ごきょうだいの方も病院に来ていただき、「自分も一緒に頑張ったんだ」「ここで〇〇は生きる闘いをしたんだ」と、一緒に思いを分かち合う機会に、という要望がありました。そこで案内状には、ごきょうだいもよろしければ来ていただきたいと記し、また、追悼の言葉を読んでいただく方は、ごきょうだいの方をお願いしました。追悼の辞では、亡くなったお姉さんへの想い、当時のご自分の気持ち、これからも家族を見守ってください、お姉さんの分まで生きていきますという言葉に、胸が熱くなりました。また、当院の職員へは、今後も小児医療の最後の砦として高度医療の継続と、思いやりのある温かい診療をするようにとメッセージをいただき心が引き締まる思いでした。

慰霊式後の「語らいの場」や式の前後には、ご家族と職



員が懐かしい時間を思い出しながら、近況や当時の様子を涙しながら、笑いながら話している光景があちこちで見られました。「こども病院には2度と来ることはないと思っていましたが、慰霊式の案内により来ることができました。」「まだこども病院に来ると思いだして辛いです。」など様々な思いでお越しになられていました。また、亡くなった当時はまだ赤ちゃんだったり、生まれていなかったごきょうだいが親御さんと一緒に来てくださりお話ができ、貴重な時間を過ごせました。

このような通知を送ってくれるな、という怒りのご意見もありました。こどもの死を受容する過程は人それぞれ違い、非常に繊細な感情に触れることとなります。しかし、この式はご家族と医療者が早く逝ってしまったこども達への想いと、生かされた命を精一杯生きていきますと誓うことができた時間だったと思います。

ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

開院記念日のクッキー

栄養科



栄養科では毎年5月28日に、こども病院の開院記念をお祝いして、入院中の患者さんの3時のおやつに、「こども病院クッキー」をお出ししています。

病院のキャラクターの「しろくま（バター味）」と「病院（ココア味）」をかたどった2枚なのですが（写真）、おわかりですか？もちろん手作りで、5月28日当日の午前中に生地を作りオーブンで焼いています。

今年は、約120枚を焼きました。

材料は、バター・砂糖・卵黄・小麦粉・ココアで、いたってシンプルな味の2枚です。ここにレモンティーと、開院記念日がわかるようにカードを一緒にお付けしました。

栄養科では、心をこめた手作りのおやつで、入院生活に少しでも潤いを感じていただけるといいなと思っています。



第4病棟紹介



今回は第4病棟の紹介をさせていただきます。

当病棟は、昨年度10月からPICU後方支援病床が開床し、今年度4月から泌尿器科(2床)が加わり、循環器小児科・心臓血管外科(循環器科として15床)・脳神経外科(5床)・整形外科(6床)で編成されています。スタッフは、医師19名・看護師は今年度新入職員5名が加わり30名・保育士2名・看護助手1名・ナースクラーク1名で構成されています。

先天性疾患の患者さんが多く、胎児診断等で病気が発見され、新生児病棟に入院後、手術等の目的で小児集中治療室(ICU病棟)を経て4病棟へ転棟となることも多く、ご家族といっしょにお子さんになるべく早くおうちに帰れるようお手伝いさせていただいています。今年開院20周年を迎え、小さかったお子さんも成人を迎えています。ここ最近では成人された患者さんの入院もあり新生児期から大人の方までと年齢も様々です。

また、入院患者さんの8割は乳幼時期であり、PICU後方病床が併設されたことや手術直後の患者さんも多く病状が変化しやすいため適切な観察と判断が提供できる看護を心がけています。

そのような中でも、季節を感じる飾りや時には患者さん・ご家族と工作をしたりと入院生活が少しでも快適になるよう保育士と協力しています。また、今年度からお子さんが治療に参加できるよう「がんばったねカード」の取り組みを始めています。点滴や処置等お子さんにとってものつらいけれどやらなくてはいけないことをできた時に好きなシールを選んでもらいカードにペタッと貼ってもらっています。カードやシールは看護助手やナースクラークと協力し作成しました。

これからも医師やリハビリスタッフ・院内学級の先生などなど様々な職種の方々と協力し、つらいだけではない入院生活になるよう努力していきたいと思っております。

小児用の「半固形食短時間摂取法」パンフレットとDVDができました!

当院では、胃ろうからの栄養方法のひとつとして、「半固形食短時間摂取法」をお勧めしています。

経管栄養チューブの管理に苦労していた方や、低栄養、下痢に悩まれていた方が、その効果を実感されています。

実際に当院の胃ろう外来を受診中のご家族から貴重なご意見を寄せていただき、その声を参考にしてパンフレットおよびDVDを作成いたしました。

広く皆さまにも知っていただき、ご活用いただければ幸いです。

ご希望の方には、パンフレットとDVDをお分けしております。詳しくは、長野こども療育推進サークル ゆうテラス(長野県立こども病院しろくま図書館内)までメールでお問い合わせください。

E-mail: info(at)u-terasu.com

※迷惑メール対策のため、メールアドレスの表記を変更しております。お手数ですが、(at)を@に置き換えてご利用ください。



編集後記

今回発行の「しろくまニュースレター（病院だより） - 27号」は長野県立こども病院創立20周年記念事業の特集になりました。と書いたところで、20年間で27号？年1回程度の発行？？まあ素朴な疑問は残りますが、これからも当院の情報を春夏秋冬タイムリーに発信していく予定です。内容に関するご意見、ご要望（クレームも…）がありましたら遠慮無く広報委員までお知らせください。次号は今秋の病院祭に関連した記事を中心に発行する予定です。

小木曾

外来受診のお知らせ

外来受診のご予約はご家族の方からお取りいただくようお願いしております。

当院は紹介外来制をとっておりますので、初診時には原則として医療機関からの紹介状が必要です。また、受診者さんの診察を円滑に行うために紹介状（画像・検査データ含む）の事前送付をお願いしております。

ご予約日の1週間前を目途に下記の宛先までご送付ください。
※送料についてはご負担願います。

予約専用電話：0263-73-5300

受付時間：平日（月～金）の8時30分～17時15分まで



送付先：〒399-8288

長野県安曇野市豊科3100 長野県立こども病院
総合受付 あて

お問い合わせ：長野県立こども病院 総合受付 まで

長野県立こども病院

院内研修会予定

「尿素サイクル異常症の新しい治療戦略 ―ブフェニールから脳死肝移植へ―」

講師：埼玉県立小児医療センター 総合診療科 副部長 窪田 満 先生

日時：平成25年8月9日（金） 17時30分～19時30分

場所：南棟2階会議室

2012年に新規認可された尿素サイクル異常症治療薬ブフェニールの実際や肝移植を含めて、尿素サイクル異常症の基礎から最新治療までお話ししていただきます。

「PICUのDOとDO NOT」

講師：静岡県立こども病院 小児集中治療センター長 植田 育也 先生

日時：平成25年8月30日（金） 17時30分～19時30分

場所：南棟2階会議室

PICUの日常に潜むDOとDO NOTについて新しい知見を交えてお話ししていただきます。

*いずれも後期研修医対象ですが、院外の医療関係者の参加も歓迎します。

長野県立こども病院 外来医師担当表

平成25年6月1日現在

	外来名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
南棟外来	整形外科	藤岡 文夫 (AM)	高橋 淳 (PM) ^{※1}	松原 光宏 藤岡 文夫 加藤 博之 ^{※2}	松原 光宏 (AM)	松原 光宏
	小児外科		好沢 克 (AM) 高見澤 滋 (PM)	高見澤 滋 (PM)	畑田 智子 (AM) 好沢 克 (PM)	
	眼科	非常勤 ^{※3}	視能訓練	視能訓練	視能訓練 (AM) 北原 博 (6/6)	北澤 憲孝
	総合小児科	南 希成 (AM) ^{※4} 笠井 正志 (PM)	樋口 司	樋口 司 (PM) 南 希成 (PM) ^{※5}	南 希成 (AM) 笠井 正志 (PM) ^{※4}	樋口 司 (AM)
	血液腫瘍免疫科 免疫・アレルギー外来			重村 倫成 (AM)	小林 法元 (AM)	
	血液腫瘍免疫科 血液・腫瘍外来	塩原 正明	塩原 正明 (AM)	塩原 正明		塩原 正明 (AM)
	総合小児科 内分泌・代謝外来		竹内 浩一 (AM)		竹内 浩一 (AM)	竹内 浩一 (AM)
	循環器科 (内科・外科)	小坂 由道 (AM) 坂本 貴彦 (AM) (外科)	安河内 聰 瀧間 浄宏 (内科)	原田 順和 (AM) 坂本 貴彦 小坂 由道 (AM) ^{※6} (外科)	安河内 聰 田澤 星一 (内科)	瀧間 浄宏 田澤 星一 (内科)
リハビリテーション科					笛木 昇 (AM)	
北棟外来	脳神経外科	重田 裕明 宮入 洋祐	重田 裕明 宮入 洋祐		重田 裕明 宮入 洋祐	
	泌尿器科 皮膚・排泄ケア外来	市野みどり	下記 ^{※7}	市野みどり		
	神経小児科	平林 伸一 ^{※8} 福山 哲広	平林 伸一 ^{※8} 福山 哲広 (PM) 奥野 慈雨	平林 伸一 奥野 慈雨 (AM)	奥野 慈雨 (AM)	平林 伸一 福山 哲広
	小児外科					高見澤 滋 ^{※9}
	新生児科	中村 秀勝 (AM) ^{※10} 小田 新 (AM) ^{※10} 中村 友彦 (PM)	小久保雅代	廣間 武彦	廣間 武彦	小久保雅代
	形成外科	野口 昌彦 藤田 研也 永井 史緒	安永 能周 (AM) ^{※11}	野口 昌彦 藤田 研也 永井 史緒	野口 昌彦 (PM) 丸山百合子	野口 昌彦 (PM) 杠 俊介 (PM) 藤田 研也 (PM) 永井 史緒 (PM)
	総合小児科 内分泌・代謝外来		竹内 浩一 (PM)		竹内 浩一 (PM)	
	麻酔科	大畑 淳 (AM)				
	皮膚科				芦田 敦子 (AM)	
	精神科 こころの診療科				原田 謙 (PM) ^{※12}	
	遺伝科	古庄 知己 ^{※13}	西 恵理子	西 恵理子	西 恵理子 (AM) 泉 幸祐 (PM) ^{※14}	西 恵理子 (AM)
	耳鼻咽喉科		下記 ^{※15}		出浦美智枝	
	循環器小児科 胎児心臓外来		田澤 星一	松井 彦郎	瀧間 浄宏 松井 彦郎	安河内 聰
	産科	吉田 志朗 (AM) 高木紀美代 小松 篤史 (PM)	高木紀美代 小松 篤史	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 小松 篤史	高木紀美代 小松 篤史
	リハビリテーション科	笛木 昇	関 千夏 (AM) 笛木 昇 (PM)	笛木 昇	原田由紀子	笛木 昇 (PM)

- ※1 整形外科の高橋医師は第2週のみ診察となります。
- ※2 整形外科の加藤医師は奇数月第3週のみ診察となります。
- ※3 6/3、6/10、6/17、6/24の診察日となります。
- ※4 月曜日の南医師と木曜日の笠井医師は、午後4時～5時の間だけ予防接種相談外来になります。
- ※5 南医師は、ワクチン接種になります。
- ※6 循環器科小坂医師は第2、第4の診察となります。
- ※7 第1週のみ西澤医師の診察となります。
- ※8 月・火曜日の午前 平林医師は発達障害専門外来です。 ※9 胃瘻・中心静脈栄養外来です。
- ※10 中村(秀)医師は、第1、3、5週、小田医師は第2、4週の診察となります。
- ※11 火曜日の安永医師は第4週の午前のみ診察となります。
- ※12 精神科(こころの診療科)外来の初診は、受付していません。
- ※13 遺伝科の古庄医師は午前11時からの診察となります。
- ※14 遺伝科の泉医師は第2、4週の診察となります。 ※15 耳鼻咽喉科 午後 週によって、医師が異なります。

★診察時間：午前9時～午後4時
★休診日：土・日曜日、祝祭日、年末年始
★受診には、原則として予約が必要です。

予約専用電話
0263-73-5300